

TOSHIBA

販売店・工事店さま用


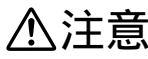
東芝レンジフードファン取付説明書

形名 VFR-36FM



このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）
この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
別売部品をご利用ください。（詳しくは、カタログをごらんください。）

安全上のご注意

取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と、意味は次のようになっています。









表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、 物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。






図記号	図記号の意味
 分解禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

 **警告**

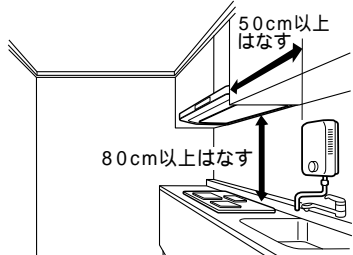
 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理（ ）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理は、お買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	アースは、確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合や本体を取り付ける場合、金属製ダクトや本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しない 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 吸気を確実に	自然排気型ストーブがある部屋に据え付けるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流100V	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や、鼻を塞ぎ窒息する原因になります。

 **注意**

 確実に取り付ける	フード・フィルターや部品は確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。
 確実に取り付ける	強度のある場所に、確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。
 電気工事士が実施	電気工事・アース工事は、電気工事士（ ）が行う 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。
 使用禁止	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電および故障の原因になります。
 接触禁止	運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない けがの原因になります。

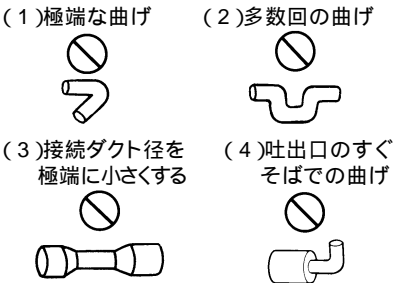
お願い

ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80cm以上必要です。



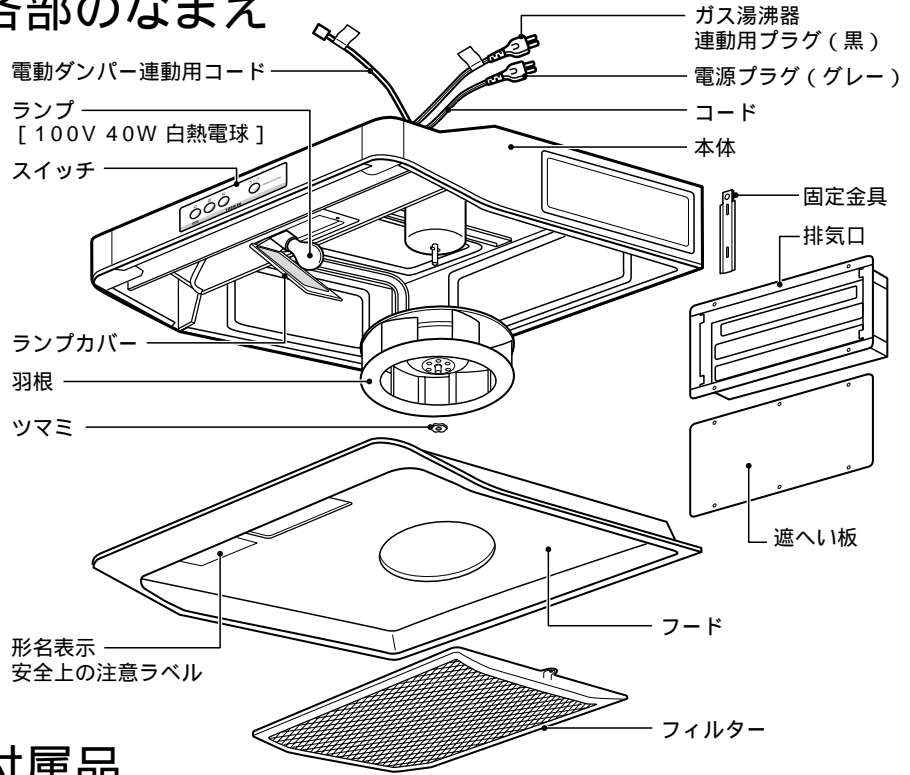
湯沸器は、50cm以上横に離して取り付けてください。
50cm以下ですと、高温により故障の原因になります。
取付工事は地域により、防災上での制限があります。
関連法規に従って施工してください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。
取付工事は手袋をして行ってください。

周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。
全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。
次のようなダクト工事はしないでください。

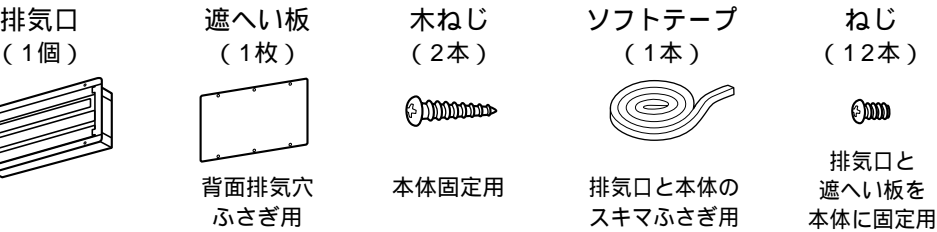


効率よく排気させるため空気の取入口を部屋の反対位置に設けてください。

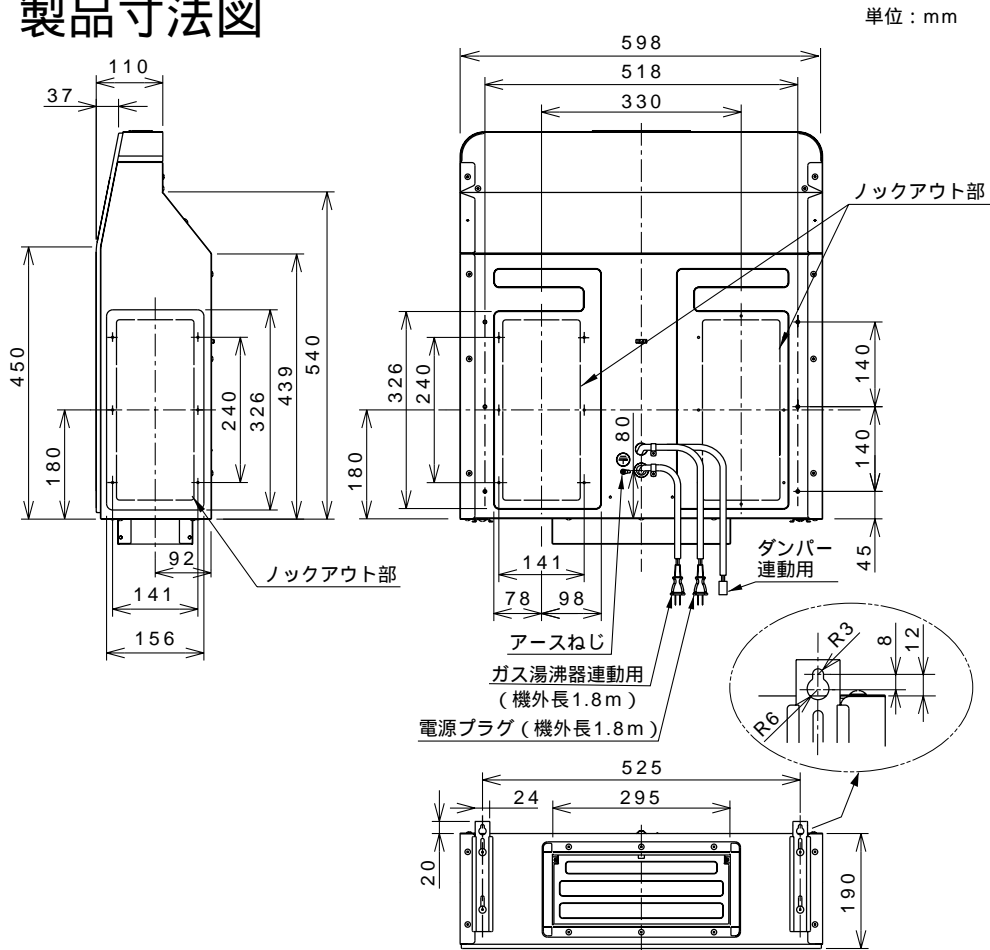
各部のなまえ



付属品



製品寸法図

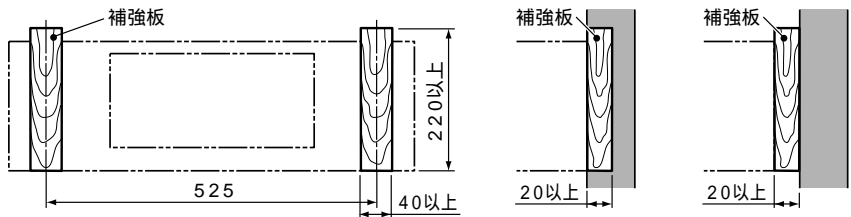


取付方法

取り付ける前に、取付部の強度をよくお確かめください。取付部が弱いと落下したり振動の原因となりますので、補強工事をしたのち製品を取り付けてください。

壁に取り付ける場合

取り付ける前の準備



板張り・土壁の場合

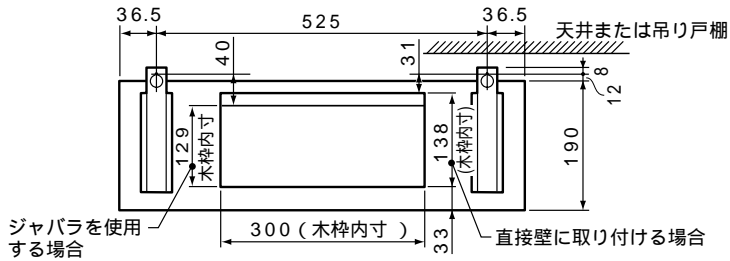
取付部の板厚が20mm以下の場合は補強板を柱などに取り付けてください。

コンクリート・タイル壁の場合

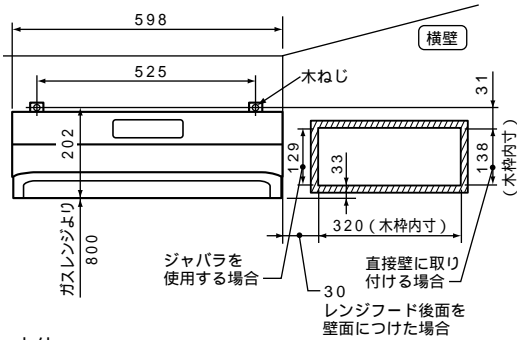
補強板をコンクリート釘などで固定してください。

木枠の取り付け

後方排気の場合



側方排気の場合

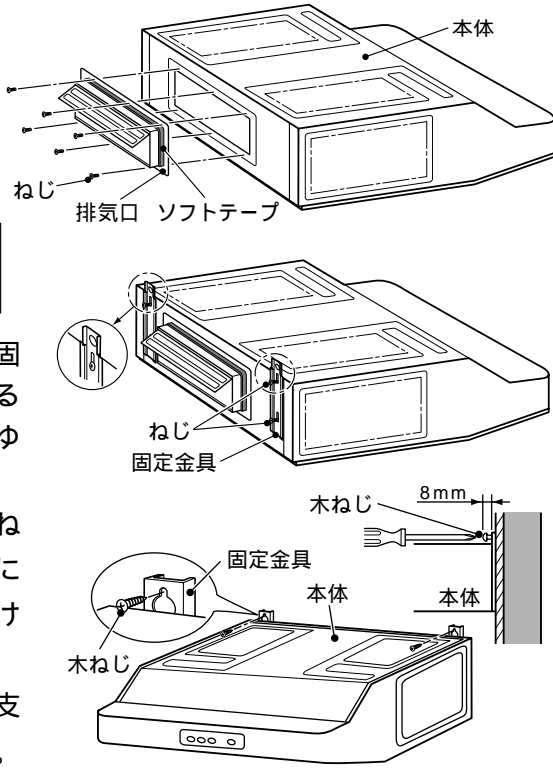


本体の取り付け

- 1 付属の排気口に付属のソフトテープを巻き付けます。
- 2 本体に排気口を付属のねじ（6本）で固定します。

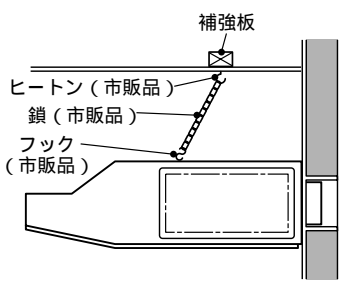
イラストは後方排気です。他の排気方向は「排気方向の選択」をお読みください。

- 3 本体背面の固定金具（2個）を固定しているねじ（各2本）をゆるめ、固定金具を上方へずらし、ゆるまないように固定します。
- 4 本体の取り付け位置に、付属のねじ（4.1×45L）を図のように8mm締め付けを残して締め付けます。
- 5 木ねじに固定金具を引っ掛け、支えながら木ねじを締め付けます。



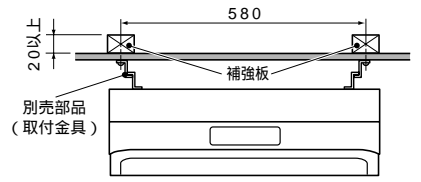
お願い

本体の落下・振動を防ぐため、本体を壁に取り付けた後に市販の鎖・ヒートン・フックで本体を吊ってください。

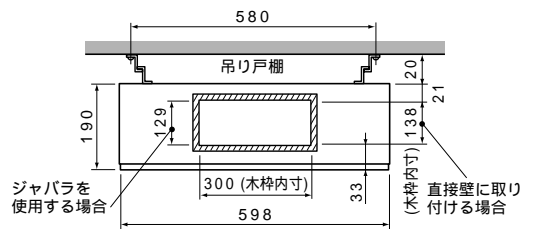


吊り戸棚に取り付ける場合

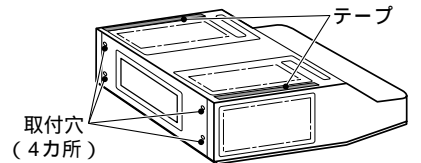
[別売の取付金具(RT-2)を使用]



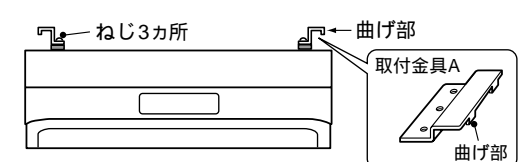
後方排気の場合



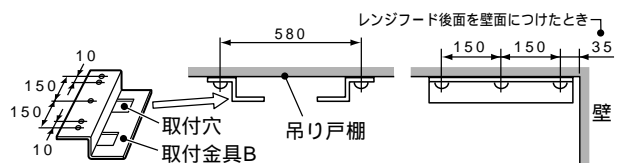
- 1 本体背面の固定金具取付穴（4カ所）をアルミテープ（市販品）でふさぎます。
- 2 本体上部のテープ（2カ所）をはがします。



- 3 本体上面に取付金具A（2本）を別売部品の付属ねじ（6本）で下図のように固定します。



- 4 取付金具B（2本）を吊り戸棚に別売部品の付属木ねじ（6本）で下図のように固定します。

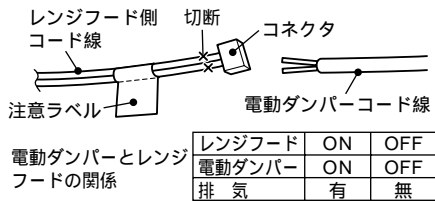


- 5 本体を取付金具B（2本）に引っ掛けます。



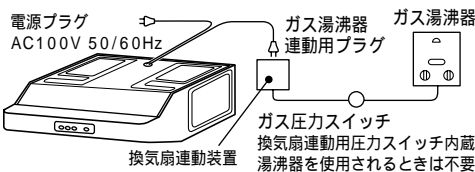
電動ダンパーと連動する場合

- (1) 電動ダンパーの説明書に従い、排気ダクトに電動ダンパーを取り付けます。
- (2) レンジフード本体から出ている電動ダンパー連動用コード線のコネクタ首下部を切断して電動ダンパーのコード線と接続します。



ガス湯沸器と連動する場合

ガス湯沸器の換気扇連動装置の説明書により湯沸器と接続します。



ガス湯沸器とレンジフードの関係

ガス湯沸器	使用時	未使用時
組み合わせるとき	レンジフードのスイッチ操作に関係なく「強」で運転	レンジフードのスイッチ操作に連動し、「強」「弱」「切」が可能
組み合わせないとき	可能	可能

アースおよび電源の接続

- (1) 本体天面のアース端子を使用してアース工事します。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

試運転

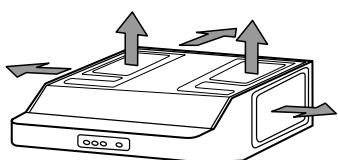
以上で取り付け完了です。
つぎの点検を行い、異常がないか確認してください。

製品の強度が十分なこと
運転したとき異常音・異常振動がないこと
シャッターの開閉が正常なこと

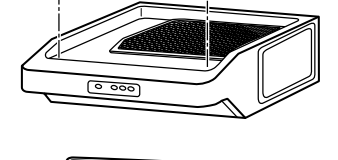
排気方向の選択

後方排気以外の場合

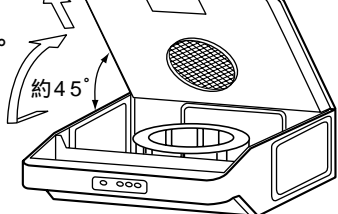
- 1 建物の構造などに合わせて排気方向を選択します。



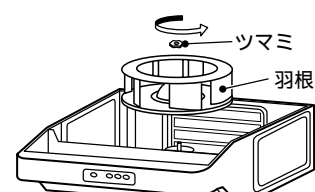
- 2 フードを固定しているねじ（2カ所）をはずします。



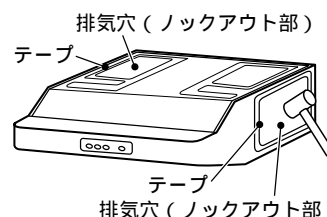
- 3 フードを本体からはずします。フードを手前に引いて約45°開き、上に引いてはずします。



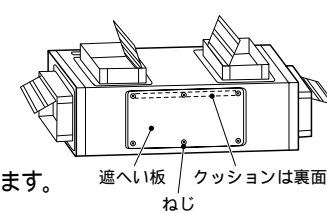
- 4 本体から羽根をはずします。ツマミは「ゆるむ」の方向にまわします。



- 5 使用する排気穴（ノックアウト部）を木ハンマーなどで打ち抜きます。上方は本体外側、側方は本体内側に貼り付けてあるテープを先にはがしてください。



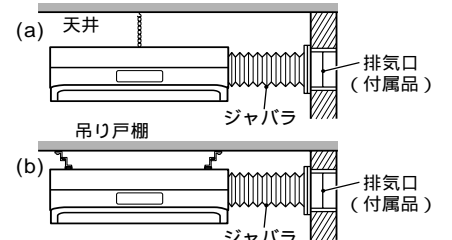
- 6 背面の排気穴は付属の遮へい板を付属のねじ（6本）で固定し、ふさぎます。



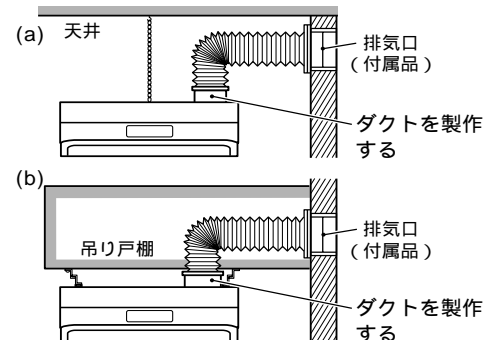
- 7 組み立てます。4 3 2 の逆の順序でおこないます。

取り付けの応用例

壁までの距離が長い場合、排気穴の位置がずれている場合は、別売のジャバラを使用し下図のように取り付けてください。



周囲に排気穴がない場合は別売のジャバラとダクトを併用し下図のように取り付けてください。



ジャバラを使用すると圧力損失が高く、風量が低下しますので、できるだけ連結箇所を少なくしてください。

(曲げて使用の場合は2本、まっすぐ使用の場合は4本ぐらいまでにとめてください。)